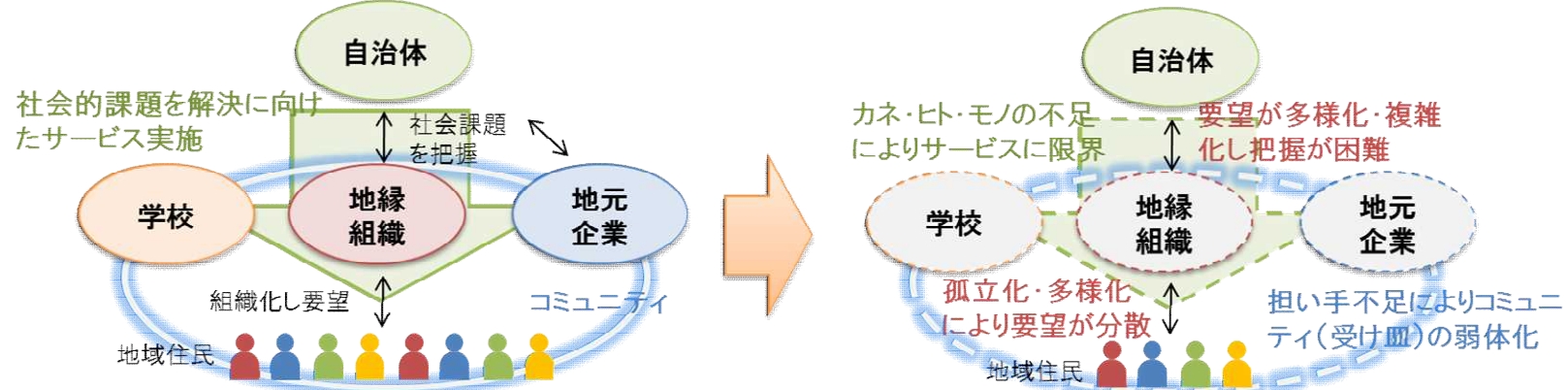


【課題・背景】

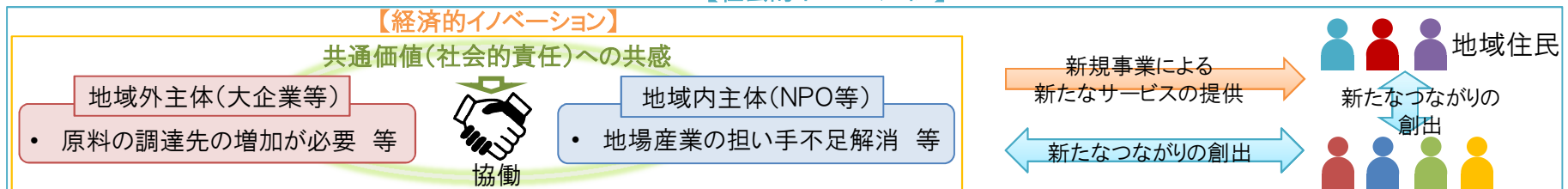
- 地方部においては特に、若者流出、高齢化、自治会の解散等により**地域づくりの活動主体となるコミュニティは減少・弱体化**しており、**地域内の人材・ノウハウによる継続的な活動の担い手を発掘・育成は困難**



【課題解決に資する近年の動き】

- 地域課題解決や地域資源のポテンシャルへの期待**、協働に伴う**社会的責任への共感**を契機に、地域外主体や地域の活動主体は、協働や活動参画
- 社会的しがらみから脱却しつつも、地域の魅力を生かすことのできる**地域外主体のノウハウ補填・人材供給**により、共助による地域づくり活動・事業の継続性を向上する**経済的イノベーション**を起こす
- 連携による新たなサービスから、サービス提供者と受益者の間、受益者間で**新たなつながり**がつけられる

【社会的イノベーション】



“**新たなつながり = 社会的イノベーションを生み出す**”ことで、地域住民どうしの信頼関係が築かれ、地域内にヒトが根付く。根付いたヒトが新しくヒトとつながり、活動生み出すことで、**新たな担い手が継続的に供給される機能を創出する。**

第3回検討会 先行事例のご紹介①

【Next Commons Lab (NCL) の概要】

コーディネーター3名、地域おこし協力隊10名というコミュニティごと地域に集団移住させるハブ機能構築

【各ステークホルダーの役割・NCLの仕組み】

1. Next Commons Labの役割

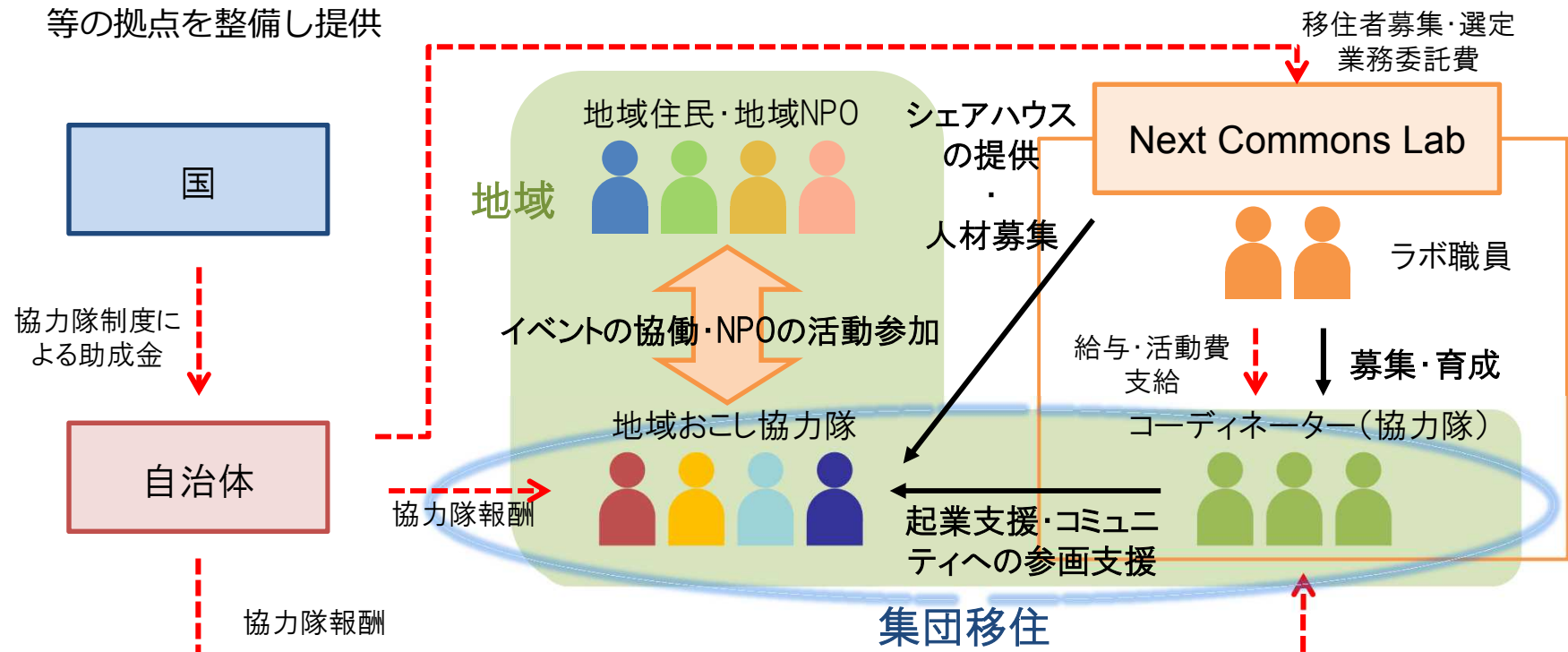
- 地域活性化ビジョンの提示、ビジョンに共感する地域おこし協力隊の募集・選定
- 地域おこし協力隊員に生活費・活動費の一部を支給
- シェアハウス・シェアオフィス等の拠点を整備し提供

2. コーディネーターの役割

- 地域住民のニーズ把握・住民への理解浸透
- 地域住民との関係性づくり
- 協力隊員の起業支援、地域への浸透支援

3. 地域おこし協力隊

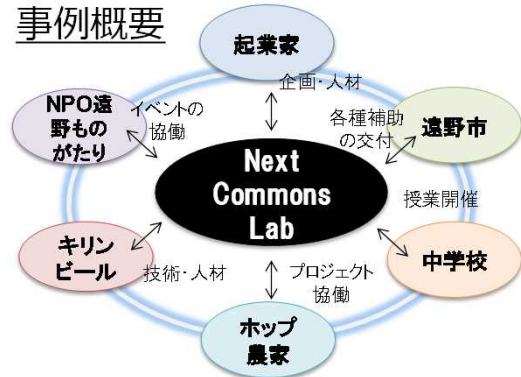
- 起業、NPO活動への参加
- 地域活動の主体として企画、実行に携わる



第3回検討会 先行事例のご紹介②

【遠野市におけるNext Commons Lab・麒麟（株）・自治体の連携事例】

■ 事例概要



【経済的イノベーション】

ビールの里 まちづくり協議会
ホップの栽培だけでなく、ビールの醸造まで地域の産業として育成

【社会的責任の共有】

地元ホップ農家の高齢化・後継者不足
地元産業を絶やしたくない

【社会的イノベーション】

ビアツーリズム
ホップ収穫体験
おつまみ野菜収穫体験
ホップ収穫祭 等

新たなサービス提供



■ 「Next Commons Lab」による地域への効果・影響

- ・ 地元商店街での新しい交流企画の実現、地元中学校での授業開催
- ・ 麒麟ビールとの協働による新規事業（ビールツーリズム）の開発

地域住民による主体的な活動の促進・地域外主体との連携促進へ

【Next Commons Lab による活動のポイント】

- ・ コーディネーターと協力隊員が地域に集団移住し、移住者どうしのコミュニティを地域内で初期段階から形成
 → **協力隊員の孤立化防止と起業に向けた相談体制の構築が可能**
- ・ 地域内の空き家を活用してシェアハウスやシェアオフィス等、共同の作業場や住居を整備し、協働型プログラムを提供
 → **協力隊員と地域住民のコミュニティ形成・維持が加速**
- ・ 地域おこし協力隊への支給費用を「①基本所得（報酬）」、「②協力隊員、地域住民との交流活動費用」、「③起業活動費用」に3分割し、①を自治体から直接支給、②・③を自治体からのNCLへの事業委託費から支給
 → **協力隊委員の給与保障と起業活動に対する柔軟な補助金活用を両立**